

【報道関係各位】

2024年3月29日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会「紫外線嚴重注意 前線 2024」を發表

～西日本と東日本の広い範囲で4月上旬から紫外線に嚴重注意 日々の対策を念入りに～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋、以下「日本気象協会」）は、紫外線量が増える4月以降の紫外線対策を呼びかけるため、「紫外線嚴重注意 前線 2024」を3月29日（金）に發表します。「紫外線嚴重注意 前線 2024」は天気予報専門メディア「tenki.jp（てんきじゃーピー）」で公開します。

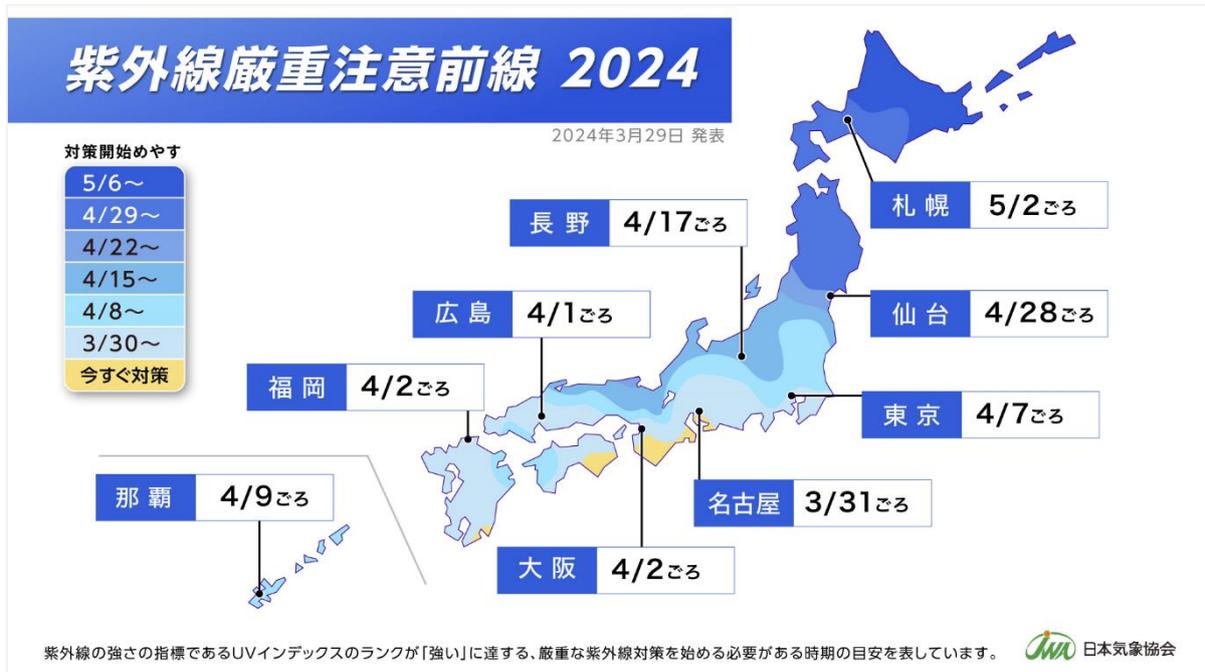
また「紫外線嚴重注意 前線 2024」では、UVカットウエアを展開しているユニクロ、顔・からだ用の日焼け止めを展開する花王ビオレとともに、紫外線対策に役立つ情報を各社のSNSなどで発信します。

■「紫外線嚴重注意 前線 2024」とは

「紫外線嚴重注意 前線 2024」は、紫外線の強さの国際指標である5段階の「UVインデックス※」を基準に、日本気象協会独自の気象予測情報や過去の気象データに基づく知見を加味して算出しています。UVインデックスのランクが「強い」に達する時期を前線図の形式で表現しています。UVインデックスランクが「強い」のときは、日中は日陰で活動することや、長袖シャツや日焼け止め、帽子の着用が推奨されます。4月の紫外線量は、残暑で日差しの強い9月と同程度となっています。春だからと油断することなく、今の時期から紫外線対策を行いましょう。

※UVインデックス：紫外線が人体に及ぼす影響の度合いをわかりやすく示すために、紫外線の強さを指標化したもの。世界保健機関（WHO）ではUVインデックスを活用した紫外線対策の実施を推奨しています。

■「紫外線嚴重注意 前線 2024」





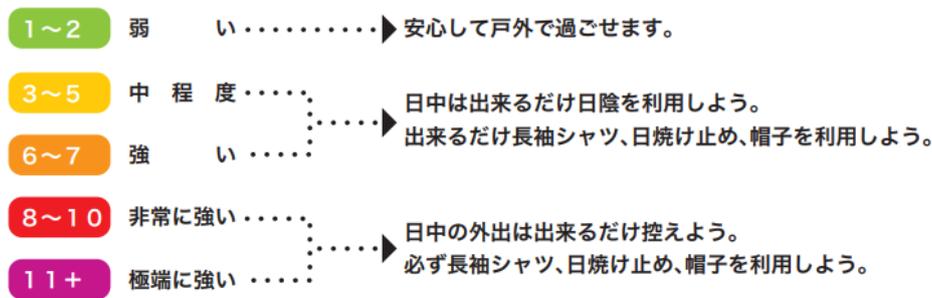
今シーズンの「紫外線厳重注意 前線 2024」によると、西日本と東日本の広い範囲で4月上旬から紫外線に厳重な注意が必要になりそうです。特に、名古屋では3月31日から厳重注意が必要な予想となっています。まだ紫外線対策の準備ができていない方は、早めの対策をお願いします。

北日本でも、ゴールデンウィークに入る4月末から5月初めには紫外線への厳重注意が必要になり始めます。お出かけの予定がある方は、紫外線対策ができるよう準備をしておきましょう。

天気予報専門メディア「tenki.jp」では「紫外線厳重注意 前線 2024」を2024年3月29日（金）から公開します。（https://tenki.jp/suppl/tenkiip_pr/2024/03/29/32417.html）本ページでは「紫外線厳重注意 前線 2024」のほか、春の終わりにかけて気温が高い傾向となり、例年よりも早い段階で半袖を着用したり、薄着で過ごす機会の増える2024年ならではの、紫外線ランク別おすすめコーディネート表も紹介しています。また紫外線対策に積極的な企業からも協力をいただき、ユニクロのUVカットウエアを使用することによる「着る紫外線対策」や、花王ビオレの日やけ止めを用いた効果的な塗り方・塗り直し方のポイントなどの情報を取り上げていきます。

なお日本気象協会は3月4日に「紫外線準備 前線 2024」を公開しています（<https://www.jwa.or.jp/news/2024/03/22387/>）。「紫外線準備 前線 2024」では例年3月以降に紫外線量が増えはじめ、紫外線対策が必要となることを広く知ってもらうことを目的に開発し、UVインデックスのランクが「中程度」に達する時期を前線図の形式で表現しました。今回公開する「紫外線厳重注意 前線 2024」は、紫外線量がより強いUVインデックスランク「強い」に達する時期を前線図形式で表現し、今の時期からしっかりと紫外線対策の必要性を利用者に理解してもらうための前線です。紫外線の厳重注意に関する前線は、2023年に続き2回目の発表となります。

【参考】UVインデックスに応じた紫外線対策



出典：環境省「紫外線環境保健マニュアル 2020」

■一般財団法人 日本気象協会について

日本気象協会は、民間気象コンサルティング企業の先駆けとして1950年に誕生しました。防災・減災や洋上風力発電の分野以外でも、気象データを活用した商品需要予測や電力需要予測、気候変動対策などのコンサルティングを通じ、気象データのビジネスでの利活用を提案しつづけています。所属する気象予報士の数は350人を超え、日本最大級の規模を誇る気象の専門家集団として企業のESG投資やSDGs活動への支援も積極的に展開中です。

■天気予報専門メディア「tenki.jp（てんきじえーびー）」 <https://tenki.jp>

日本気象協会が発表する気象情報を、Webサイト／スマートフォンアプリで無料提供している天気予報専門メディアです。年間ページビュー数は約58億PV（Webページ・スマートフォンアプリ合算での推定）。生活に欠かせない天気予報に加え、専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報も確認できます。日本気象協会に所属する気象予報士が、天気・防災に関するニュースを毎日提供する「気象予報士のポイント解説」も人気コンテンツです。



・本情報の無断での法人利用（プレスリリースでの引用や販促目的使用など）はご遠慮いただいております。商品 PR など法人利用をご検討の際はお問合せフォーム（<https://www.jwa.or.jp/contact/>）からご連絡をお願いします。

- ・製品名、サービス名などは一般に各社の商標または登録商標です。
- ・「tenki.jp」は一般財団法人 日本気象協会と株式会社 ALiNK インターネットの共同運営です。
- ・「tenki.jp」は、一般財団法人 日本気象協会の登録商標（登録第 6129427 号）です。
- ・「tenki.jp」ロゴマークは、一般財団法人 日本気象協会と株式会社 ALiNK インターネットの登録商標（登録第 5763293 号）です。
- ・内容は発表日現在のものです。予告なしに変更されることがあります。

以 上